

## エネルギー・資源研究会発足に際して



### 会長 あいさつ

東北大学学長

前 田 四 郎



今回エネルギー・資源研究会が各界の代表諸氏からなる発起世話人によって企画され、本日無事設立総会を迎える次第になりましたことを、皆様と共に心からお喜び申し上げます。

私は化学工学のみが専門で、到底会長の職は堪えるところではありませんが、幸い皆様のお許しと御協力が得られれば出来るだけのことはさせて頂きたいと存じます。

さて、エネルギー・資源の問題は設立趣意書に申述べられております通り、もちろん官・学・産業界を問わず日本全体の、いや、世界全体の問題になっていることは申すまでもありません。

従来この種の問題は専ら産業界に大学が協力するか大学に産業界が協力するかの体制で処理されて来ました。そして政府は専ら監督の立場に立ったわけですが、今回のエネルギー・資源の問題は産・学の外、更に政府(官)も一体となって当り、出来るだけ早く三者間の意志疎通を図ることが必要と考えられます。

本研究会は、三者一体となり各界各方面の新しい情報交換と技術交流の場になることが最大の目的であります。

もちろん本研究会は設立されたばかりであり、最初から窮屈な規則等で運営を縛ったり、又、大きな構想を立てて空回りすることよりも、実質的に各界にわたる各位の自由な、率直な意見の交換の場となること、特にこの問題は極めて広い分野の方々に関連の深いことも考え、形式にこだわらない自由な討論の場を数多く提供することをとりあえずの目的として足場を固めていきたいと考えます。

本研究会が、現在世界中が直面しているエネルギー・資源問題の解決に少しでも多く、そして少しでも多方面の方々に役立ち得れば幸いと存じます。

皆様の御協力をお願いしてあいさつといたします。